

平成 25 年度 事業報告

I 総会及び理事会並びに常務理事会

1 総会及び理事会

平成 25 年 6 月 7 日(金)、県立長野図書館において開催しました。

2 常務理事会・事務局会議

当協会の事業執行、審議のため、県立長野図書館において 6 回開催しました。

II 本会事業

1 第 63 回長野県図書館大会

平成 25 年 10 月 19 日(土)、大町市(大町市文化会館・大町公民館、サン・アルプス大町、フレンドプラザ等)を会場にして開催されました。

記念講演は京都女子大学教授井上一郎先生を迎え、これからの学校図書館の活用についての講演があり、参加者に大変感銘を与えました。

参加者は 505 名、14 分科会が開催されました。

2 長野県図書館協会専門研修

(1) 図書館職員等ステップアップ(専門)研修

6 月から 12 月にかけて県下各地の図書館等において、10 回開催し、合計 309 名が受講しました。

(2) もっと楽しく読み聞かせ講座(子どもゆめ基金助成事業)

7 月から 11 月にかけて県下各地の図書館等において 4 回開催し、142 名の参加者がありました。

<関係の研修会>

① 県立図書館

初任職員研修会が 3 回、障害者サービス研修会が 1 回開催されました。

② 県生涯学習推進センター

平成 26 年 1 月 16 日に、「公共図書館と電子情報サービス」のテーマで図書館講座が行われました。

③ 上田女子短期大学の協力講座「図書館職員学び直し講座」が第 2 クルーに入って、「図書館総合講座」が 8 回行われました。

3 信州・果物と朗読紀行

読書活動の振興として、また県下の農産物の PR、販売促進をめざして、信州・果物と朗読紀行ーおいしい信州ふード(風土)「青木裕子さんと一緒に朗読駅伝」を初めて開催し、参加者も多く好評でした。

(1) 第 1 回あんずの巻、千曲市、7 月 9 日(火)、クラシック狭義庵(さみのあん)

(2) 第 2 回ぶどうの巻、軽井沢朗読館との共催事業 9 月 7 日(土)

(3) 第 3 回柿ものがたり、飯田市立中央図書館、1 月 12 日(日)

4 読み聞かせ活動等

県下には現在、読み聞かせ・お話し会・朗読等の 400 を超す団体、グループが存在し、活発に活動が行われています。

一方、全県的な組織として活動して来た長野県 PTA 親子読書推進の会は、今年 3 月を以って解散しました。

5 信州図書館文化講座

地域文化の向上、住民の学習や調査研究の発表の場として、平成 25 年度までに 8 回開催しています。

今年度は、「ふるさと」讃歌一春を語り歌う一をテーマとして、ふるさとを思う詩や小説、長野県出身の作詞者・作曲家の唱歌を取り上げ、3 月 25 日に長野市ホクト文化ホールにおいて実行委員会形式で開催し、250 名の参加があり感動を与えました。

6 図書館建設に伴う学習会、相談支援事業

ここ数年、県下は図書館建設ラッシュが続きましたが、図書館建設及び運営等について助言し、図書館の意義の理解促進に努めました。

7 長野県版認定司書制度創設のための研究

当協会の図書館職員等ステップアップ(専門)研修等が本格化して 8 年目を迎え、この間の受講修了者から「修了認定証」申請も予想されましたが、申請は特にありませんでしたので制度創設のための研究は行いませんでした。

8 古本等を活用した被災地支援について

平成 24 年度に引き続き、(株)バリューブックスが行う被災地の図書館支援「陸前高田市ゆめプロジェクト」の古本回収事業に協力するとともに、図書館祭り、本のリサイクル市における古本回収や募金による被災地支援を呼びかけ、被災地の図書館復興支援に協力しました。

9 組織基盤の強化、『明日をひらく図書館－長野の実践と挑戦』の活用について

支部総会への役員の出席等を通じて、本会と支部との交流、連携を図りました。

また、昨年 6 月に発行された『明日をひらく図書館－長野の実践と挑戦』の活用、販売に努めるとともに、販売手数料、献本の販売代金を雑収入とし収入確保に努めました。

10 ホームページの管理運営事業

研修計画、各種事業、各種関係資料、会議・部会等のお知らせ、紹介等を行い、県下全ての図書館に関わる情報提供の役割を果たしています。

11 その他

3 月 18 日に、県教委伊藤教育長と協会役員との懇談会を実施し、「県民参加と協働による県立長野図書館の図書館サービス・活動の拡充、高度化について」提案するとともに、県立図書館、市町村図書館、学校図書館、大学図書館等の役割、機能の一層の向上について意見交換を行いました。

Ⅲ 公共図書館部会の事業

1 会議

- (1)館長会議 5月24日(金) 松川村すずの音ホール 56名
- (2)幹事会 3回

2 研究集会等

- (1)第63回長野県図書館大会 10月19日(土) 大町市文化会館
- (2)公共図書館初任職員研修会 5月10日(金) 55名 9月27日(金) 26名
11月29日(金) 31名 県立長野図書館
- (3)図書館講座 1月16日(木) 生涯学習推進センター 34名
- (4)障害者サービス研修会 11月1日(金) 県立長野図書館 38名
- (5)長野県同和教育研究大会 9月26日(木) 総合教育センター 4名
- (6)図書館職員等ステップアップ研修 協会本会の事業として実施

3 その他

- (1)平成25年度長野県公共図書館概況の提供(県立長野図書館ホームページに掲載)
- (2)録音・点字図書目録増加分の提供
- (3)新聞・雑誌総合目録の提供 (CD-ROM)

Ⅳ 小中学校図書館部会の事業

1 会議

- (1)支部代表者会 3回
- (2)幹事会 5回
- (3)推薦課題図書選定委員会 3回
- (4)司書教諭研究委員会 4回
- (5)学校司書委員会 4回

2 研究集会等

- (1)第63回長野県図書館大会 10月19日(土) 大町市文化会館
- (2)第27回北信越地区学校図書館研究大会 10月10日(木)11日(金) 富山県8名
- (3)地区研究会
北信 長野支部 9月5日(木) 徳間小学校・北部中学校 120名
東信 佐久支部 11月15日(金) 中佐都小学校・野沢中学校 108名
南信 下伊那支部 11月15日(金) 豊丘北小学校・豊丘中学校 178名
- (4)図書館職員等ステップアップ研修 協会本会の事業として実施

3 第36回長野県読書感想文コンクール

- (1)応募総数 小学校 250校 2702編 中学校 108校 1434編
入賞作品 小学校 129編 中学校 58編
(全国入賞なし)
- (2)第36回長野県読書感想文コンクール金賞作品集「ひろがる読書」の編集

4 第25回読書感想画コンクール(全国学校図書館協議会・毎日新聞社主催)

応募総数 小学校 12校 196点 中学校 6校 38点

入賞作品 小学校 28点 中学校 10点 (全国入賞なし)

5 部会だよりの配信 (135号・136号・137号)

6 デジタル版すいせん図書の配信 (217号・218号)

7 実務マニュアル「新鮮で使いやすい図書館に 改訂版」および
「司書教諭と学校司書 力を合わせて図書館教育」の販売と利用促進

8 その他

全国学校図書館協議会事務局長会議参加 2月6日(木)・7日(金) 東京

V 大学専門図書館部会の事業

大学専門図書館部会には20館所属している。国立が7館(学部図書館を含む)公立が2館、私立が11館である。各図書館の「長野県内大学図書館基本情報(OPAC公開、学外者利用、学外者貸出、複写受付、貸借受付等)」を、信州大学附属図書館のホームページで公開している。

昨年度の長野県図書館大会において「図書館と図書館サークル FLC 学生との協働」というテーマで、上田女子短期大学附属図書館の須田智里氏が同大学における図書館と学生との協働について事例発表を行った。上田女子短期大学では主に司書過程に所属する学生が中心となって活動している図書館サークルがあり、附属図書館内での書架整備や七夕飾り等の活動を行うだけでなく、公共図書館におけるおはなし会を定期的で開催したり、上田市近隣の公共図書館の開館準備にボランティアとして参加したりするなど、学外でも積極的に活動を行っていることについて報告があった。

発表の後、学生との協働活動事例や課題等について討議を行った。いずれの大学でも何らかの形で学生との協働活動を行っていたり、今後そのような活動を模索したりしていることが分かった。

課題として、上手く学生が集まらないこと、組織化して長期的に継続していくことが難しいことなどがあげられ、学生の自主的な活動に対して図書館職員を含めた教職員がどのように関わっていくかが重要であることが確認できた。

VI 長野県地域史資料データベース構築・公開事業

NPO長野県図書館等協働機構による「長野県地域史資料データベース構築・公開事業」の推進に協力しました。

事業成果として「信州地域史料アーカイブ」が、6月下旬から県立長野図書館 HP 等において供用開始の運びとなりました。

引き続き事業推進に協力するとともに、県下の図書館、学校等において、レファレンス、地域学習、学校副教材化、観光等の面での活用が期待されます。

平成 26 年度 事業計画

I 総会及び理事会並びに常務理事・事務局会議

1 総会及び理事会

平成 25 年 6 月 26 日(木)、県立長野図書館において開催

2 常務理事・事務局会議

県立長野図書館において 6 回程度開催

II 本会事業

1 第 64 回長野県図書館大会

平成 26 年 11 月 8 日(土)に、茅野市(茅野市民館、永明中学校、茅野市役所)を会場に開催されます。

既に企画運営委員会が開催され、現地実行委員会も設置され、分科会の内容や運営等について準備中です。

学校図書館法の一部改正により学校司書の法制化(見込み)を受け、意義ある大会を目指します。

記念講演は杏林大学教授・言語学者の金田一秀穂先生を予定しています。

2 長野県図書館協会専門研修

(1) 図書館職員等ステップアップ(専門)研修(全 14 回 別紙)

①特別研修会～「図書館の自由に関する宣言」と特定秘密保護法について～(2 回)

②学校図書館職員・教員向け研修(3 回)

③製本修理講習会(1 回)

④情報リテラシー養成講座～データベース・NDL講習会(7 回)

⑤図書館の危機管理研修会(1 回)

(2) もっと楽しく読み聞かせ講座(子どもゆめ基金助成事業 4 回 別紙)

<その他の研修会>

(1) 県立図書館

初任職員研修会、障害者サービス研修会

(2) 県生涯学習推進センター・図書館講座

平成 27 年 1 月 22 日 「子どもの豊かな未来を育む読書活動」

(3) 図書館振興財団助成事業「地域史料講座」(NPO長野県図書館等協働機構主催)

上田情報ライブラリー、松本市文書館

(4) 文化庁助成事業の信濃史料・地域史料・善光寺関係講座(実行委員会主催 予定)

県立歴史館、県立図書館、ホクト文化ホール他

(5) 学び直し講座－上田女子短大・地域史資料デジタル化演習

(準デジタルアーキビスト養成講座 別紙)、松本大学

(6) 文部科学省専門研修会及び地区別研修会

3 図書館職員、市民の情報リテラシー向上のために、司書や関係者が参加した懇談会を開催し、現状認識、全国情報を知り、スキルアップ、ハード整備等の方向を探ります。

4 読書活動の振興・朗読駅伝の普及

～青木裕子さん・小山菜穂子さん・岩崎信子さんと一緒に朗読駅伝～

読書活動の振興のために、信州の果物等が登場する作品をテーマにして市民が出演する朗読駅伝とともに、おいしい信州ふード(風土)として農産物の販売促進・PRに寄与します(別紙)

5 読み聞かせ活動等の推進

県下には現在、読み聞かせ・お話し会・朗読等の400を超す団体、グループが存在し、活発に活動が行われています。

これらの読書団体・グループと連携し、子どもの読書活動推進法や各自治体の推進計画に沿い、読書活動を推進します。

6 信州図書館文化講座

地域文化の向上・学習要望に応え、調査研究の発表の場として平成19年以来行っています。

例年のように関係団体・図書館と実行委員会を組織し、テーマ・出演者等を検討し開催します。

7 図書館建設に伴う相談支援事業

図書館建設及び運営支援のため、建設及び運営について助言し、図書館の意義の理解促進を図るとともに、相談支援事業を行います。

8 古本等を活用した被災地支援について

平成25年度に引き続き、(株)バリューブックスが行う被災地の図書館支援「陸前高田市ゆめプロジェクト」の古本回収活動や図書館祭り・本のリサイクル市などにおける古本回収や募金活動による被災地支援を県下の公共図書館に呼びかけ、被災地の図書館復興支援に協力します。

9 組織基盤の強化、『明日をひらく図書館－長野の実践と挑戦』の活用について

支部総会への役員の出席等を通じて、本会と支部との交流、連携を進めます。

また、昨年6月に発行された『明日をひらく図書館－長野の実践と挑戦』を活用、普及に努めます。

10 ホームページの管理運営事業

研修計画、各種事業、地域情報、各種関係資料、会議・部会等のお知らせ、紹介等を行う。特に、学校図書館の意義の理解促進のための情報提供や公共図書館関係情報の提供に努め、県下全ての図書館に関わる情報提供のセンター的役割を目指します。

III 公共図書館部会の事業

1 会議

- (1)館長会議 5月23日(金) 小布施町公民館講堂
- (2)幹事会 3回

2 研究集会等

- (1)第64回長野県図書館大会 11月8日(土) 茅野市民館
- (2)公共図書館初任職員研修会 5月9日(金)・9月・11月 県立長野図書館
- (3)図書館講座 1月下旬 生涯学習推進センター
- (4)障害者サービス研修会 11月 県立長野図書館
- (5)長野県同和教育研究大会 9月下旬 総合教育センター
- (6)図書館職員等ステップアップ(専門)研修 協会本会の事業として実施

3 その他

- (1)平成26年度長野県公共図書館概況の提供(県立長野図書館ホームページに掲載)
- (2)録音・点字図書目録増加分の提供
- (3)新聞・雑誌総合目録の提供 (CD-ROM)

IV 小中学校図書館部会の事業

1 会議

- (1)支部代表者会 3回
- (2)幹事会 5回
- (3)推薦課題図書選定委員会 3回
- (4)司書教諭研究委員会 4回
- (5)学校司書委員会 4回

2 研究集会等

- (1)第64回長野県図書館大会 11月8日(土) 茅野市民館
- (2)第39回全国学校図書館研究大会 8月6日(水)～8日(金) 山梨県
- (3)地区研究会
 - 中信 松本支部 10月31日(金) 波田小学校・波田中学校
 - 東信 上小支部 11月11日(月) 長門小学校・依田窪南部中学校
 - 北信 更埴支部 11月18日(火) 治田小学校・更埴西中学校
- (4)図書館職員等ステップアップ(専門)研修 協会本会の事業として実施

3 第37回長野県読書感想文コンクール

金賞作品集「ひろがる読書」の編集

4 第26回読書感想画コンクール(全国学校図書館協議会・毎日新聞社主催)

5 部会だよりの配信 (138号・139号・140号)

6 デジタル版すいせん図書の配信 (219号・220号)

7 実務マニュアル「新鮮で使いやすい図書館に 改訂版」および
「司書教諭と学校司書 力を合わせて図書館教育」の販売と利用促進

8 その他

全国学校図書館協議会事務局長会議参加 2月5日(木)・6日(金) 東京

V 大学専門図書館部会の事業

VI 長野県地域史資料データベース構築・公開事業

NPO長野県図書館等協働機構が推進する長野県地域史資料データベース構築・公開事業について協力するとともに、図書館等に眠る膨大な地域史料を地域や生活に利用できるように努めます。

また、長野県地域史資料データベース構築・公開事業により出来上がった「信州地域史料アーカイブ」が公開される機会に図書館のレファレンス、地域学習、学校教材化等の活用を図ります。

(別紙)

平成26年度 長野県図書館協会 定期総会議事録

日時 平成26年6月26日
(木)

13時30分から14時45分

場所 県立長野図書館

1 開会 池田義久 常務理事

2 あいさつ 牛山圭吾 会長

(概要)

「学校図書館法」が改正され「学校司書」が法制化されることになった。。学校には司書教諭のほか学校司書を置くよう努めることとされ、平成27年4月1日から施行される。「学校司書」には、教育指導への支援が期待されるので、研修の進め方を検討するなど課題に取り組む必要がある。長野県図書館協会では、ステップアップ研修を計画しているほか、11月に行う図書館大会では、法改正の協力者委員の講義を予定している。

公共図書館に関しては上松町の公民館図書館が拡充された。木曾地域の他の自治体にこのような動きが広がるといい。また「信州地域史料アーカイブ」データベースを公開することができた。

読書ボランティアに関しては、県内に400ほどのグループがあるので、このサポートを考えなくてはならない。朗読駅伝、ボランティア講座も計画している。

子どもの心にそったおもしろい本を選ぶことが大事だがそのための本を紹介する。『石井桃子の翻訳はなぜ子どもをひきつけるのか』竹内美紀著、ミネルヴァ書房、2014.4

図書館を取り巻く課題は多いが、協力して取り組んでいきたい。

総会成立の確認 池田義久 常務理事

総会は、規約19条により総会出席資格者の10分の1の出席により成立するとされている。本日の出席者数29名、委任状668で有効数は697であり総会は成立する。

3 議長選出

事務局一任の声により、川島長野市立長野図書館長を提案し、拍手多数を持って選出された。

4 議事

(1) 第1号議案 役員の承認

選出母体の役員変更による理事の変更を承認した。(公共図書館部会、小中学校部会、高等学校図書館部会)

(2) 第2号議案 平成25年度事業報告

提案：宮下常務理事・事務局長、森泉公共図書館部会長、鈴木小中学校図書館部会長
(内容は別紙参照)

(3) 第3号議案 平成25年度歳入歳出決算報告

提案：宮下常務理事・事務局長、森泉公共図書館部会長、鈴木小中学校図書館部会長
(内容は別紙参照)

監査報告：湯原監事

質疑

特段の質疑はなく、拍手多数をもって第1号、第2号、第3号議案は承認された。

(4) 第4号議案 平成26年度事業計画

提案：宮下常務理事・事務局長、森泉公共図書館部会長、鈴木小中学校図書館部会長
(内容は別紙参照)

(5) 第5号議案 平成26年度歳入歳出予算

提案：宮下常務理事・事務局長、森泉公共図書館部会長、鈴木小中学校図書館部会長
(内容は別紙参照)

質疑

特段の質疑はなく、拍手多数をもって第4号、第5号議案は承認された。

(6) 第6号議案 平成27年度(第65回)長野県図書館大会について

提案：宮下常務理事・事務局長

小諸市で11月に開催することが承認された後、開催地の代表から挨拶があった。

5 議長退任

6 手塚副会長閉会挨拶要旨

1. 今、安倍政権はこれまでの法制局の憲法判断やそれに基づく政府解釈を捻じ曲げ、憲法9条を「改憲」によらず「解釈」により9条の壁を取り払うとしている。

2. 戦後憲法9条あったから、他国の戦場へ出かけて誰も殺傷しなかったし、自衛隊は一人も死ななかった。集団的自衛権は、他国の防衛のため自衛隊を地球の裏側まで派兵し、日本が戦争に巻き込まれる危険がある。

3. 戦前の日本の図書館は、国民教化の役割を担い、戦争遂行に加担した歴史がある。

戦後その反省から、「図書館の自由に関する宣言」が生まれた。

4. 松江市の教育長は首長の言いなりになり、「はだしのゲン」を学校図書館の蔵書から除去するという事件が起きた。教育委員会制度も改悪されようとしている。

5. 今日の総会で平成26年度事業計画や予算が決まったが、各種の研修会ははじめ事業をしっかりと進めていきたい。

14時30分に閉会した。